

RWMC

平成20年度

原子力環境整備促進・資金管理センター

(略称：原環センター)

研究発表会

石垣記念ホール(三会堂ビル9階)案内図

東京都港区赤坂1丁目9番13号

TEL(03)3582-7451(代)



● 交通ご案内

J R 新橋駅下車タクシー7分

地下鉄 銀座線虎ノ門駅下車(3番出口)徒歩5分

地下鉄 千代田線・丸ノ内線国会議事堂前駅下車(3番出口)徒歩7分

地下鉄 東西線・銀座線溜池山王駅下車(9番出口)徒歩4分

※お手数ですが、同封の用紙に必要事項を記入の上11月14日(金)までにファクシミリ又は郵送によりお申し込み下さい。
なお、定員(180名)になり次第締め切らせていただきます。

原子力環境整備促進・資金管理センター 企画部

〒104-0052 東京都中央区月島1丁目15番7号

(パシフィックマークス月島8階)

電話 03-3534-4511(代表) FAX 03-3534-4567

ホームページ <http://www.rwmc.or.jp/>

◆ 日 時：平成20年11月21日(金)

13:30~17:00

◆ 場 所：石 垣 記 念 ホ ー ル

(三会堂ビル9階)

東京都港区赤坂1-9-13

財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター
RADIOACTIVE WASTE MANAGEMENT
FUNDING AND RESEARCH CENTER (RWMC)

ご 案 内

平成20年10月

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、弊センターは昭和51年10月の設立以来、関係各位のご指導、ご支援を仰ぎながら、放射性廃棄物の安全かつ合理的な処理処分の実現に求められる様々な試験、研究、開発、調査等を推進し、その成果の普及に努めてまいりました。

このたび、平成20年度研究発表会として弊センターがこれまで実施してきた研究の成果発表と京都大学大学院 人間・環境学研究科 鎌田浩毅教授をお招きした特別講演を企画いたしました。

ご多忙中とは存じますが、各位のご来駕を頂きたくご案内申し上げます。

敬具

財団法人 原子力環境整備促進・資金管理センター
理 事 長 井 上 毅

特別講演概要

地層処分事業を円滑に進めるためには、技術者・研究者といえども社会とのコミュニケーション技術が必須である。富士山など活火山の防災研究で演者が得た知識と経験をもとに、強力なノウハウを紹介する。キーワードは“ブリッジマン”である。

講師紹介

専門は火山学・地質学。日本火山学会理事、日本地質学会火山部会長、気象庁活火山改訂委員、内閣府災害教訓委員、原子力発電環境整備機構国際有識者会議員などを歴任。

日本地質学会論文賞、日本地質学会優秀講演賞を受賞。

“科学の伝道師”を自認し、火山学の啓発・教育活動（アウトリーチ）に積極的にたずさわり、科学ライターの育成を目指す。日本テレビ「世界一受けたい授業」やNHKテレビ「爆笑問題のニッポンの教養」などに出演した異色の研究者。

著書に『火山噴火』（岩波新書）、『富士山噴火』（ブルーバックス）、『火山はすごい』（PHP新書）、『地球は火山がつくった』（岩波ジュニア新書）など。

1955年生まれ、1979年東京大学理学部地質鉱物学科卒業。通産省地質調査所主任研究官、米国内務省カスケード火山観測所研究員を経て1997年より京都大学大学院人間・環境学研究科教授。理学博士

プログラム

開 会 (13:30)

1. 挨拶 (13:30～13:35)

理 事 長 井 上 毅

2. 「原環センターにおけるTRU廃棄物処分研究」

(13:35～14:10)

技術総括室長 田 辺 博 三

3. 「人工バリアの長期挙動研究の成果と課題」

(14:10～15:10)

処分技術調査研究プロジェクト
プロジェクトマネジャー 大 和 田 仁

休 憩 (15:10～15:30)

4. 特別講演

「地層処分のためのコミュニケーション技術：
“ブリッジマン”への道」

(15:30～17:00)

京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授 鎌 田 浩 毅

閉 会 (17:00)